

# 西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

2011年1月19日発行 Vol. 88

皆さま あけましておめでとうございます

発行者：会長 森田 正樹／編集：広報部

2月13日(日)は、西宮市国際交流デーです！

恒例の西宮市国際交流デーが、2月13日(日)に開催されます。今年も交流市民の会はバザーに参加します。(詳しくは右のチラシをご覧ください)

昨年は、槇尾さん为先頭に女性会員さんたちがクレープの調理販売に初挑戦。焼きたてのクレープが大好評で、用意した材料が無くなってしまふほど売れました。

今年も、3年連続でオープンカフェを開店したいと思います。フレンテ5階のエスカレーターを降りた所で、パラソルの下の丸いテーブルでワインやジュースを飲みながら歓談していただきます。その横では恒例のドライフルーツを販売します。パネル板には絵画部の皆さんの作品を展示・販売をします。そして、今年も槇尾さん为先頭に女性会員さんたちが、クレープ(またはその他の何か?)を調理して販売していただく予定です。

会員の皆さま、国際交流デーの日には、ぜひNLeGオープンカフェへお越しくださいますよう、お待ちしております。



と き : 2011年2月13日(日) 午前10時~午後4時  
と ころ : フレンテ5階

## 国際交流デー協力員募集！

国際交流デー当日、出品物の販売やオープンカフェで飲物を出していただける協力員を、会員の皆さまの中から募っております。販売や飲物をサービスするのはとても楽しく、いろいろな人と交流もできます。

ご協力いただく時間 ☞ 午前9時から午後4時30分の間で、ご都合のつく時間帯で結構です。



※ご協力いただける会員さんは事務局 (メール: info@nleg.net またはFAX: 0798-32-8673) までご連絡いただきますよう、お願いいたします。当日はエプロンをご持参ください。多くの会員の皆さまのご協力をお待ちしております！！

## ガレット・デ・ロワ galette des roi



皆さんもご存知かと思いますが、フランスでのお正月は大晦日に新年へのカウントダウンをし、都市によっては小規模な花火を上げる程度で1月1日は家族で静かに過ごします。多くの会社は翌日から始まり、すぐに日常へと戻ります。

クリスマスも終わり冬の賑やかさが無くなったと思いきや、実はまだ楽しいイベントがあります。それは“ガレット・デ・ロワ”です。キリスト教にまつわる行事で、1月6日に3人の王様（東方三博士とも訳される）がキリスト生誕を祝いに会いに行くということをたたえるもので、フランス人はガレット・デ・ロワ（王様のケーキという意味を持つ伝統菓子）を食べる習慣があります。

アーモンドクリーム生地をパイ生地で包んだケーキの中には、1つだけ“フェーヴ”という小さな陶製の人形(?)を入れて焼き上げてあります。

このケーキは1月いっぱいフランス中のパン屋、ケーキ屋、スーパーで売られており、大抵の人がホールケーキをまるまるひとつ購入します。購入すると、一緒に紙でできた王冠が付いてきます。家族や友人と切り分けて食べ、ケーキの中に入っているフェーヴが当たった人が王様、または女王様になれるというおみくじみたいなゲームです。幼稚園や小学校でも行われ、当時息子は手作りの王冠を頭に乘せ「当たったよ〜」とか「今年はダメだった!」とか一喜一憂して帰宅したものです。学校では1つのケーキに3つくらいフェーヴを入れて、当たる確率を上げてくれたみたいです。ガレット・デ・ロワもお店によって多少味が違い、お洒落な店ではチョコレート味やリンゴ味などの変り種も売っていました。

フェーヴはもともと乾燥した豆でしたが、今や店や年により数え切れないくらい種類があり（何千、何万種も!）1つの店でシリーズもの（例えばメダルモチーフの陶器）として、ケーキの中に入れて売られています。これをコレクションしているフランス人は多く、アンティーク市に行くとフェーヴ専門店もよく出店されています。フェーヴは子供向けの場合ディズニーキャラクターなどのアニメもの、F1スポーツカーや自動車モチーフのものなど、大人向けはサーカスやアンティーク時計やギリシア彫刻のモチーフなど多種多様です。

私もこのケーキもフェーヴも大好きで、1月の初めは毎日のように張り切って食べていましたが、だんだん高カロリーを摂取しすぎて胃もたれしてきます。月の途中からは、フェーヴ欲しさにケーキ屋で売られているケース付きのフェーヴコレクション（ケーキは抜きです）を買ったりしていました。フェーヴは欲しいが、ケーキはほんの少ししか食べたくないフランス人の大人は多いようで、どこのケーキ屋、パン屋でもその年の各店のフェーヴコレクション一式のみの購入は可能でした。また、買うだけでは飽き足らず、友人宅に行って自分達でフェーヴを入れたガレット・デ・ロワを焼きました。皆でフェーヴを探しながら食べて、結果に大騒ぎして“1月の遊び”として楽しんでいました。



今では、日本のケーキ屋やパン屋、時にはコンビニでもガレット・デ・ロワを購入できるみたいです。皆さんも1度食べて、誰が王様になるか楽しんでみてはいかがでしょうか？紙でできた王冠を巡って、童心に戻ることに請け合いです。

（藤枝知子）



 Au revoir! シルルさん、さよなら 2010! 

12月18日(土)、在日30年のフランス人シェフ、ジャンポールさんがピアニストの奥様と二人、甲子園口に最近開店した味も居心地も最高の店《A la Maison Jean-Paul (ア・ラ・メゾン・ジャンポール)》を貸切り、当会の忘年会兼アジャンに帰るシルル・ダルグランデさんの送別会が賑やかに行われました。定員ギリギリ30名(定員オーバーでお越し頂けなかった方たち、本当にごめんなさい!)の会員さんの中には、フランスでの1年間のパン屋修行(うち4ヶ月はアジャンで)から11月に帰国した谷口佳典君(「フリアンド」)もいて、まさにロット・エ・ガロンヌと西宮の人の行き来を実感させる集いとなりました。

オーナーのジャンポールさんはもともとハム・ソーセージ類(シャルキュトウリー)専門の職人さんとして30年前に来日。フランスの高級食品店の東京店、神戸店で働かれた後に独立。従業員を何人も使って順調にしていた会社をわざわざ人に譲り、料理の勉強をしておいた上で、“本物のフランスの郷土料理をくつろいだ雰囲気の中で味わってもらい、奥様のピアノ演奏など自分たちもお客さんと共に楽しめる店を”ということで、昨年、ガレットと郷土料理の店を開店されました。以来、なんの宣伝もしていないのに、次から次へとお客さんが来て大繁盛!それもそのはず、大変リーズナブルな料金で本物の味、手作りの味、そしておいしいワインやシードル(りんごの発酵酒)……。私たちも、お得意のパテやハム・ソーセージ、キッシュ、サラダなどのオードブルいろいろ、その場で切り分けて頂いた大きな塊のローストビーフ、ジャガイモのグラタン、チーズ、そして3種類のタルトとクレームブリュレ(カスタードプリン)など食べ放題。本当におなかいっぱい、しあわせ~!奥様のピアノ演奏に、心も満たされました。

また、シルルさんが流暢な日本語で日本徒歩旅行報告(大阪から奈良、京都、飛騨、岐阜をへて富士山、箱根まで300km以上を歩いて旅したという驚きの)を、谷口君が研修報告代わりに実際に焼いてきてくれたフランスパン(なんと“バゲット・アジャン”と命名されている)を味わいながら、一同おおいに盛り上がりました。そして、当会2代目会長の武居画伯の描かれた夙川の絵、鈴木前会長が撮影された『日本の祭り』の写真集、川野さんのご友人が製作して下さった木の器など、友情のこもった品々がシルルさんにお別れのプレゼントとして渡されました。木の器は余分がたくさんあったので、最後に皆でじゃんけんゲームをして分け合いました。シルルさんからは韓国旅行や北海道旅行のお土産のお菓子などが皆に配られました。

本当に一晩中でもワイワイしていたい楽しい時間でした。これからジャンポールさんの店がNiegのたまり場になりそうです。また次回をお楽しみに!! (佐藤祥子)



**アラメゾン ジャンポール**

〒663-8113 西宮市甲子園口3丁目29-10 ☎Tel/Fax :0798-64-7719 (水曜定休日)

**フリアンド (谷口佳典さんが焼くおいしいパン屋さん)**

〒662-0035 西宮市若松町3-1 ☎Tel :0798-23-0101

〒662-0051 西宮市羽衣町7-31-013 (夙川グリーンタウンB1)

## Bonjour! Enchanté!

とあるワイン会で知り合った、藤川さんご夫妻の紹介で1年半前からフランス語教室に通っています、多田貴子です。10月14日～11月21日の5週間、フランスへバカンスに行ってきました。早速ですが、「Madame Takakoのフランス日記」を始めます！！

2度目のフランス……滞在先はボジョレー村のプチホテル。ゲストに出す料理に使う食材は全て“jardin”。シャンピニオンは裏の山に取りに行き（寒い中年寄り3人で……）、勿論ワインもオーガニック！周りは全てブドウ畑でな～んにもないところ。滞在中、日本でお馴染みのボジョレーヌーボーのセレモニーがありました。車で30分（飲酒運転は日本ほど厳しくない）、音楽隊と共にたいまつ片手に行進♪12時のカウントダウンと共に花火が上がり、今年のヌーボーのワインを開ける！！日本と違ってヌーボーはおいしかったあ(\*^\_^\*) 昼夜を問わずワインとフランス語の日々。そろそろ耳が慣れて来たと思ったら、あっという間の帰国。

12月初めにフランス語教室に復帰。可愛い、カロリーヌ・セザレオさんのフランス語講義がありました。早くて分

からないなりに、所々理解できる場所がありました。しかし帰国して早や2ヵ月。日々の生活に追われ、今では元に戻りフランス語が頭に入らない。年齢には勝てない……。それにもめげず、次回の渡仏に向けて頑張りま～す(^-^) フランス語部の皆様、宜しくご指導を！！（多田貴子）



### 編集後記

世界は広いようで、案外狭いのかもかもしれません。昨年末、ちょっとしたきっかけで知り合ったある人と当会でつながっていたことが判明！フランス語講座で講師を務められた、カロリーヌさんでした。この広い地球上で、人と人はどれくらいの確率で出会うのでしょうか。そして、その出会いは偶然か、あるいは運命か……。人の縁とは不思議なものです。今年もそんな出会いを大切にしたいと思います。（川合）